

経済指標解説

米国

2007/11/6

みずほ総合研究所 経済調査部
エコノミスト
中村 正嗣 (03-3201-0549)
masashi.nakamura@mizuho-ri.co.jp

製造業・非製造業 I S M 指数 (2007年10月)

- 10月の製造業 I S Mは50.9と4カ月連続低下する一方、非製造業 I S Mは55.8に上昇
- 製造業の業況悪化が続く一方、非製造業の景況感は底堅さを維持
- 輸出環境は良好ながら、住宅市場の悪化、融資姿勢のタイト化など引き続き楽観できず

10月の製造業 I S Mは50.9、
前月比▲1.1pt 低下

生産は50割れまで低下し、
受注-在庫バランスも悪化

10月の非製造業 I S Mは
55.8、前月比+1.0pt 上昇

住宅市場の悪化や金融機関
の融資姿勢が厳格化に向か
っている中、企業活動の減速
は続く見通し

米国サプライマネジメント協会(以下、I S M)によれば、10月の製造業 I S M指数(以下、総合指数)は50.9(前月比▲1.1pt)と4カ月連続低下した(図表1)。内訳では、生産(前月比▲5.0pt)、新規受注(同▲0.9pt)、入荷遅延(同▲1.3pt)が総合指数を押し下げた。一方、在庫(同+5.6pt)、雇用(同+0.3pt)は前月から上昇した。

各項目を見ていくと、生産(54.6→49.6)が50割れの水準まで急低下した(図表2)。一方、新規受注から在庫を差し引いた「受注-在庫バランス」は、在庫(41.6→47.2)の急上昇を背景に前月から大きく悪化した(11.8→5.3)。10~12月期の出足としては生産の不調が示唆されることに加えて、先行き不透明感も高まった。2006年末に見られたような在庫調整局面が想起される状況と言える。一方、輸出受注(54.5→57.0)が高水準を維持していることは生産の下支え要因として期待できる(図表3)。新興国景気の好調さやドル安が輸出の追い風となっているようだ。

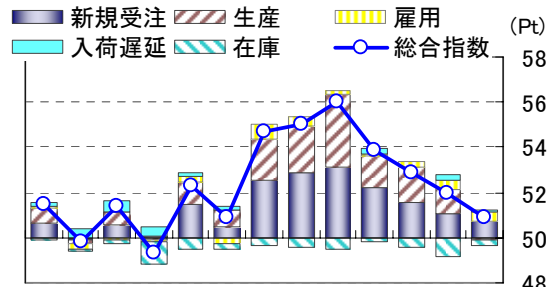
一方、10月の非製造業 I S M指数は55.8(前月比+1.0pt)と、8月の水準まで戻した(図表4)。非製造業 I S M指数は製造業と異なり景況感を示しているに過ぎないとは言え、底堅さがうかがえる推移である。金融市場の動揺や信用不安への懸念が熾り続けている中、現時点ではその影響は限定的なようである。項目別に見ると、新規受注(53.4→55.7)、輸出受注(50.0→56.0)の堅調さが示された一方、雇用(52.7→51.8)、受注残(47.0→43.5)などは低下した。業種別では、小売業、建設業、不動産業、専門・技術サービス等9業種で景況感の改善が報告された(前月8業種)。景況感悪化を報告したのは通信業、卸売業等4業種となった(前月5業種)。

企業活動は年末にかけて減速に向かう見通しである。足元で底堅い非製造業も楽観すべきではないだろう。これには住宅市場の悪化や融資姿勢厳格化による影響が挙げられる。まず住宅市場の動向については、歴史的な水準まで着工件数が落ち込むなど、調整は再加速している。このため、関連業種の業況や雇用は悪影響を受けよう。次に金融機関の融資姿勢を見ると、F R Bの融資担当者調査(10月実施)によれば、事業法人向け融資の厳格化姿勢が示された(図表5)。大手金融機関の大幅損失発表が続くなど、引き続き融資姿勢のタイト化が懸念される状況にある。金融面から企業活動への下押し圧力が強まる可能性も排除できない。

図表1 製造業ISM指数の推移

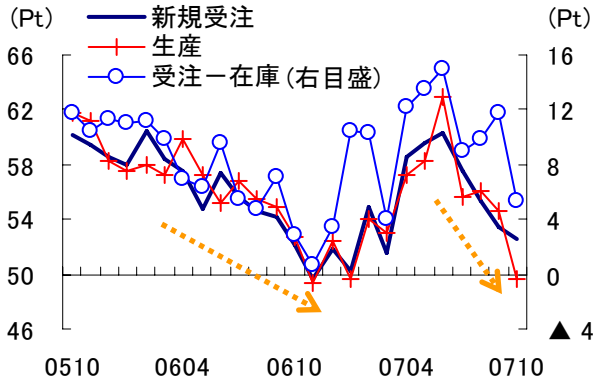
	0710	(前月比)	0709	0708	0707
総合指数	50.9	▲ 1.1	52.0	52.9	53.8
新規受注	52.5	▲ 0.9	53.4	55.3	57.5
生産	49.6	▲ 5.0	54.6	56.1	55.6
雇用	52.0	0.3	51.7	51.3	50.2
入荷遅延	50.6	▲ 1.3	51.9	50.0	52.0
在庫	47.2	5.6	41.6	45.4	48.5
仕入価格	63.0	4.0	59.0	63.0	65.0
受注残	46.0	▲ 5.0	51.0	50.5	52.0
輸出受注	57.0	2.5	54.5	57.0	56.5
輸入	47.5	▲ 5.5	53.0	52.5	54.5

(注)仕入価格、受注残、輸出受注、輸入は原数値
(資料)ISM



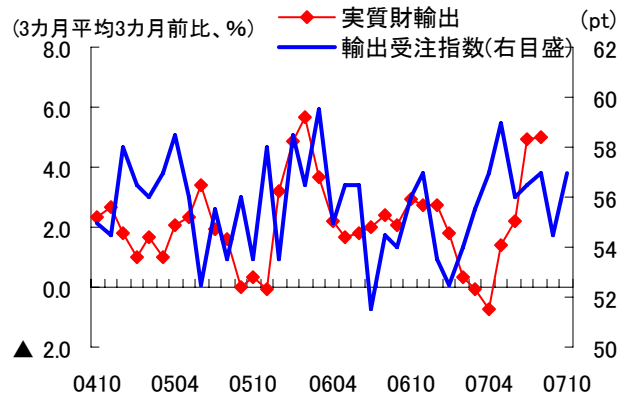
0610 0612 0702 0704 0706 0708 0710
(注)50が業況悪化・拡大の分岐点と言われる。総合指数は新規受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫の各指数から合成。
(資料)ISM

図表2 受注-在庫バランス



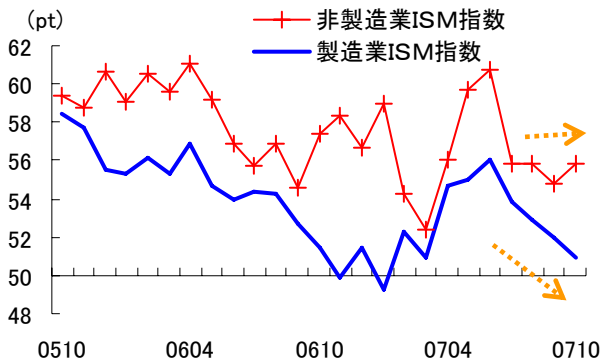
(注)「受注-在庫」=新規受注指数-在庫指数
(資料)ISM

図表3 輸出受注指数



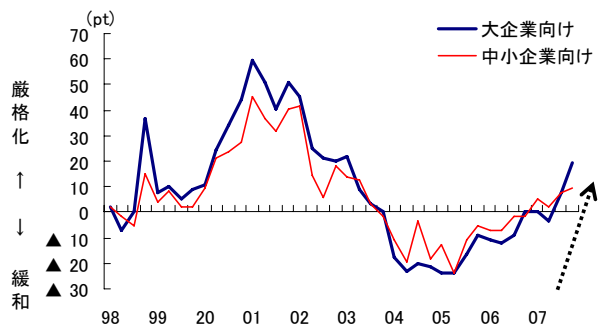
(資料)米国商務省、ISM

図表4 非製造業の景況感推移



(資料)ISM

図表5 米銀の融資姿勢



(注)商業、工業向け貸出に対する融資姿勢。
指数は「引き締め」との回答数-「緩和」との回答数から算出
(資料)FRB